

「出題の意図」

選抜区分	2020（令和2）年度（選抜区分：一般選抜後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい></p> <p>グループ面接および個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>グループ面接は受験生を4～5名程度のグループに分けて行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsのゴールに関連して、「住み続けられるまち」とはどのようなものか考えを述べる問題・他の受験生の意見について、回答を求めた。 <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none">・自己PRおよびその内容・新国立競技場について・将来の仕事を選ぶときに最も大切にすることについて質問し、回答を求めた。 <p><受験生の特徴と傾向></p> <p>グループ面接</p> <p>「住み続けられるまち」とはどのようなものと考えているか、質問を行った。回答については、施設や交通インフラに関わるハード的要素が中心であったが、行政や環境負荷低減に関わるソフト的要素について答える受験生もいた。また、子育て世代や高齢者などのライフステージに対応したまちづくりについても意見があった。都市部や郊外部など複数の視点に基づき、意見を述べる者も印象的であった。他の受験生の回答に対する意見を求める設問に対しては、賛同意見を述べる受験生がいる一方で、他者の回答を十分に把握していない受験生も少なからず存在していた。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>質問に対して自らの考えを整理し、回答がなされていた。新国立競技場に関する出題では、ニュースやSNSで知り得た情報を元にして、施設の設計内容や使用されている材料についてコメントがなされていた。建築への興味・関心度があらわれる傾向にあった。将来の仕事を選ぶときに最も大切にすることに関する出題では、社会貢献が可能であることや自分がしたい仕事ができることなどが述べられ、建築分野への熱意が示されていた。一方、将来行いたい職種に関する質問と誤解している受験生も相当数存在した。</p>

